

回覧

駅前・辻川

辻川にて  
開催!!

観光交流センター

開館 5 周年記念イベント



日時：10月6日（日）

14時～16時

場所：辻川観光交流センター

内容：

福崎妖怪クイズ（14：30頃）

ガジロウじゃんけん大会（15：00頃）

ガジロウお菓子撒き（15：30頃）

（問い合わせ）

福崎町役場 地域振興課 観光推進係

TEL 0790-22-0560（393）



ガジロウ参戦!!

15：00頃登場



# 柳田國男の旅

【 秋風帖・雪国の春・海南小記 】



2024.

10.5 土 » 12.8 日

【開館時間】 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

【開催場所】 福崎町立柳田國男・松岡家記念館

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は開館)・祝日の翌日

【入館料】 無料

○主催／福崎町教育委員会 ○協力／神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター



# 柳田國男の旅

【秋風帖・雪国の春・海南小記】

柳田國男は、松岡家の6男・松岡國男として明治8年(1875)、神東郡辻川村(現福崎町西田原)に生まれました。

上京後、東京帝国大学で農政学を学び、官僚としての勤めのかたわら地方に残る習俗や伝承を研究し、『遠野物語』などを記しました。大正8年(1919)に貴族院書記官長を退き、翌年朝日新聞社の客員となります。のちに柳田國男の代表的な紀行文となる『秋風帖』『雪国の春』『海南小記』などに記された旅は、この頃のものです。

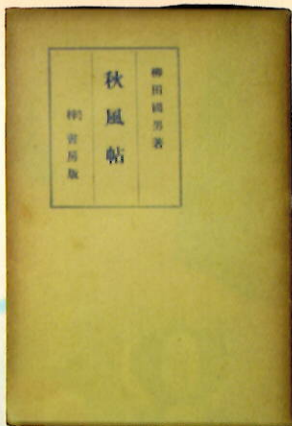
同社を退職後は日本民俗学を確立するとともに、『民間伝承論』『海上の道』など、多くの著作を残しており、昭和26年(1951)には文化勲章を授与されました。

柳田國男は88年の生涯のなかで、国外を含め100回以上の旅を経験します。その志のはじまりは、10歳のとき、福崎町の日光寺山山頂から初めて海を見た國男少年の「方々の海を見て歩こう」という決意でした。

本展では、柳田國男の著作の中から、旅の経験を記した代表的な三作の紀行文『秋風帖』『雪国の春』『海南小記』を取り上げ、民俗学への転換点となった「柳田國男の旅」を読み解きます。

昭和七年(一九三二)梓書房

秋風帖



昭和三年(一九二八)岡書院

雪国の春



大正二四年(一九三五)大岡山書院

海南小記



アクセス

J R : 播但線で福崎駅下車、タクシー約10分  
お車 : 播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号線を利用



## 講演会のご案内

本年度も柳田國男・松岡家記念館顧問で、東京学芸大学名誉教授の石井正己先生に、本展に関連する内容でご講演いただきます。

日時 2024年11月16日(土) 13時30分～

場所 神崎郡歴史民俗資料館2階

柳田國男・松岡家記念館

Kunitada Ryūta and the Matsukawa Family Memorial Museum established by Fukusaki Town

兵庫県神崎郡福崎町西田原 1038-12

Tel. 0790-22-1000

<http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/kinenkan/>



回覧

第49回福崎秋まつり文化講演会

# 人生七転び八起き

野球解説者

講師 **金村義明氏**

1963年兵庫県宝塚市生まれ。報徳学園高等学校在学中の1981年、エースで4番打者として春夏連続で甲子園出場。夏は全国制覇を果たす。翌年、ドラフト1位で近鉄バファローズに入団。入団後は三塁手に転向し「いてまえ打線」の中核をなす。その後、1995年FAで中日、1997年トレードで西武へ移籍。勝負強い右バッターとして活躍。1999年に現役引退。通算成績は、1262試合、打率2割5分8厘、127本塁打、487打点。現在は「現場主義」をモットーに、野球評論を中心に幅広い分野で活躍中。夫人との間に3人の息子がいる。

**入場無料**

日時

**10/26(土)**  
2024.

開演15時(開場14時30分)

※手話通訳あります

場所

福崎町エルデホール  
メインホール

兵庫県神崎郡福崎町福田116-2

●お問い合わせ

福崎町文化センター ☎0790-22-3755

〒679-2212 神崎郡福崎町福田176-1 (休館日:月曜日)

主催: 福崎町・福崎町教育委員会





# ライブラリー

2024.9

《令和6年9月19日発行》

福崎町立図書館 図書館だより No.115

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790  
http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/library/



## 料理

魅力的な料理が次々と出てくる本、読んでいただけでお腹の虫が騒ぎ出してしまいそうです。飯テロ注意のおいしいものがいっぱい出てくる本を集めてみました。夜中に読むと危険かも！？

下町の片隅にある小さなフレンチレストラン。そのシェフの三船は無精ひげに髪を後ろで1つに結び無口で変人。でも作る料理は絶品な物ばかり。そんな彼は店に来る客が体験した不思議なことや謎を少しの手掛かりで解決してしまう。

『タルト・タタンの夢』

(近藤史恵 著 東京創元社 BF/コン)



彼氏に振られた桃子は喫茶「雨宿」でイケメン店長の雨宮と常連の僧侶黒田さんに元カレのために作っていたカレーを作ることに...。桃子も雨宿の一員に加わってお客さんの元カレ(カノ)の相談に乗ることになります。作って食べて未練を断ち切ります。

『元カレごはん埋葬委員会』

(川代紗生 著 サンマーク出版 Fカワ)



ネコのチマキ目線で描かれたちよつと複雑で個性的な「宝来家」の人々の日常。マカナイさんの樹さんが作る料理とデザートが毎回美味しそうで食べたくなります。私は「春野菜のドライカレー＆黒豆入り玄米ごはん」が一番そそられました。

『チマチマ記』(長野まゆみ 著 講談社 Fナガ)



登山口にあるレストランではイケメンシェフとシェフの甥の美少年瑛太、そしていつも失敗ばかりしている美玖で毎日お客さんをもてなします。おいしい料理と季節ごとに違う顔を見せる山、でも楽しいことばかりではない。三人それぞれが抱えている問題にも向き合いながら前を向いて一步一步進みます。

『山の上ランチタイム』

(高森美由紀 著 中央公論新社 Fタカ)

### 図書館カレンダー

※行事・イベントは変更や中止になる可能性があります。

※ は休館日です。

#### 10月

| 日  | 月  | 火  | 水                          | 木          | 金  | 土                      |
|----|----|----|----------------------------|------------|----|------------------------|
|    |    | 1  | 2<br>えほんの<br>じかん<br>11:00~ | 3<br>資料整理日 | 4  | 5                      |
| 6  | 7  | 8  | 9                          | 10         | 11 | 12                     |
| 13 | 14 | 15 | 16                         | 17         | 18 | 19<br>おはなし会<br>11:00~  |
| 20 | 21 | 22 | 23                         | 24         | 25 | 26<br>子ども映画会<br>14:00~ |
| 27 | 28 | 29 | 30                         | 31         |    |                        |

#### 11月

| 日  | 月  | 火  | 水                          | 木          | 金  | 土                      |
|----|----|----|----------------------------|------------|----|------------------------|
|    |    |    |                            |            | 1  | 2                      |
| 3  | 4  | 5  | 6<br>えほんの<br>じかん<br>11:00~ | 7<br>資料整理日 | 8  | 9                      |
| 10 | 11 | 12 | 13                         | 14         | 15 | 16<br>おはなし会<br>11:00~  |
| 17 | 18 | 19 | 20                         | 21         | 22 | 23<br>子ども映画会<br>14:00~ |
| 24 | 25 | 26 | 27                         | 28         | 29 | 30                     |



## 図書館員おすすめ本

だいたい朝晩が涼しくなってきたキャンプに最適な時期になってきました。キャンプアニメで人気の「ゆるキャン」は実際にある土地やお店が舞台になっています。実際に行ってみたい！と思ったら現地に行くもよし、行けなくてもアニメに出てきた色々な場所やお店が現実にあると知れて本を見ているだけでワクワクします。

「ゆるキャン」(JTBパブリッシング 786. 3/ル)

「ゆるキャン SEASON2」(JTBパブリッシング 291. 5/ル)

キモノを着てみたいけど勇気がない、合わせ方が分からない、そういう人結構いると思います。でもファッションの一部として考えるならそんなに難しく考えなくてもいいとこの本を読んで思いました。疲れたら途中で脱げるように下に服を着ていけば気軽にキモノを楽しむこともできます。この本でキモノの魅力を再確認できます。

『さんかくキモノのスズメ』

(さんかく 著 主婦と生活社 593. 8/サ)



### こどものほん

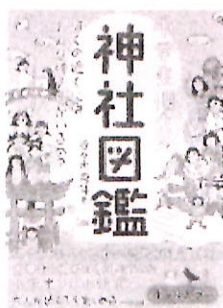
1・2年生 3・4年生 5・6年生



『くさい食べ物大図鑑』

(前橋健二 監修)

383/ク)



『小学生博士の神社図鑑』

(佐々木秀斗 著)

175/サ)

『図鑑』を辞書で調べると「絵や写真を主にして物事をわかりやすく説明した書物」となっています。例えば動物図鑑、植物図鑑は知っていると思いますが、それ以外にもたくさん図鑑はあります。調べものをする時も文字だけではないので見やすく調べやすいです。写真や絵が多いので見ているだけでも楽しいので自分の好きなものの図鑑を見つけて読んでみてください。



『地球のびっくり! 数の図鑑』  
(藤嶋昭 監修)  
450/チ)



『櫻井寛さんの全国私鉄路線と車両大図鑑』

(櫻井 寛 写真・文 686/サ)

## YOASOBI

ほんだな

「小説を音楽にする」というコンセプトで活動している YOASOBI。発表している全ての楽曲に原作小説や元ネタがあります。デビュー曲の「夜に駆ける」の原作は星野舞夜さんの「タナトスの誘惑」というお話です。小説と歌詞の両方をじっくりと読んでみると今までとは違う感じ方ができます。「YOASOBI 小説集」には他の楽曲の原作も載っています。他に鈴木おさむさんの「ハルカと月の王子さま」という本は「ハルカ」の原作です。MVとは違う視点のイラストが描かれているので楽曲に込められた想いをさらに深く知ることができます。曲を知らない人でも楽しめるお話なのでぜひ読んでみてください。

『夜に駆ける YOASOBI 小説集』

(星野舞夜 他 著 双葉社 913. 68/ヨル)



## 図書館からのお知らせ

### 利用カードについて

ホームページか図書館でパスワードを設定していただくと画面上にご自身のバーコードを表示することができます。画面のバーコードで貸出することができますので利用カードを紛失した場合でも再発行せず貸出することができます。ぜひご利用ください。

『ハルカと月の王子さま』

(鈴木おさむ 作 双葉社 F/スズ)

